

フードバンク関西ニュース FOOD BANK KANSAI NEWS

認定特定非営利活動法人 フードバンク関西

<https://foodbankkansai.org/>

神戸市東灘区深江本町1-8-16 バレル芦屋101
TEL : 078-855-7025 info@foodbankkansai.org



vol.
50
2024.06

ご挨拶

フードバンク関西は2024年3月31日をもって第21期を終了することができました。2003年に活動を始めて以来20年間、たくさんの皆さまに支えていただきながら、日本のフードバンクの草分けとして活動を続けてまいりました。

昨年度は設立20周年の節目年にあたり、記念誌の発行とアニバーサリーイベントを開催する中で改めて、皆さまからいただいたお力の大きさを感ずることができました。これまでご支援くださった皆さまに心より御礼申し上げます。

食はお腹を満たすだけでなく心も満たします。地域の中で誰もが安心して暮らせるように、引き続き食支援を通じて行政機関や民間の支援団体と協働して取り組んでまいります。今年度もフードバンク関西にお力添えくださいますようお願いいたします。

代表 中島 真紀

2023年度事業活動のご報告

コロナが5類に移行し、社会活動が通常に戻りましたが、コロナ禍以上に物価高騰が生活困窮世帯の家計を圧迫しており、食支援を求める困窮世帯は増加しています。その一方で企業の食品ロス削減の取り組みが進んだことや在庫管理等の厳格化によって、フードバンク団体への食品寄贈は減少傾向にあり、当法人においても企業からの寄贈は減少しました。

フードバンク関西では、単に取り扱い食品の量の拡大を目指すのではなく、食品を必要としている困窮者に食品を届けるという目的を明確にし、当法人からの食支援の必要性が少なくなった既存の受取団体への食品提供を終了するなど支援先の見直しを図りつつ、食支援を必要としているところに必要とされる食品を安定的に届けることを目指してまいりました。

一方で、食品提供を受ける困窮世帯や支援団体では、手に入れたい食品と提供される食品の種類や量に一部でミスマッチも出てきています。当法人では、生活困窮者の生活の向上を目指すという視点に立ち、今後も必要とするところに必要な食品を提供できるよう、関係各所へ働きかけを継続してまいります。



《本年度取り組んだこと》

食品の受取 (事業の詳細報告は次ページ)

- 当法人の活動趣旨を理解して支援していただける企業・法人との繋がりを作り、米、野菜を定期的にいただけるようになりました。
- 企業や団体、学校などで社会貢献活動としてフードドライブに組み込み、当法人を寄付先として選んで届けてくださることが多くなりました。

食品の提供 (事業の詳細報告は次ページ)

- 夏休みと年末の2回、各回、兵庫県内500世帯余りの困窮子育て世帯に対して食品パックを発送しました。
- 食のセーフティネットでは、行政の制度にたどり着かない人たちへ1回限りではあるが、食品を宅配で送り、その後、地域や行政で支援が受けられるよう、できる限りの情報を提供しました。
- フードパントリーをする団体他、困窮者を支援する団体に対して米などの食品を十分提供することができました。

食品管理

- 日本フードバンク連盟の食品衛生管理監査を受け、食品の衛生管理において高評価を得ました。
- 在庫管理システムの運用により作業分担が定着しました。
- 個人やフードドライブで提供されたものを食品分類と賞味期限別に整理保管することで、出庫作業の効率が上がりました。

法人運営

- 個人情報取り扱いについての規定、体制の整備を行い、プライバシーポリシーの公表、個人情報取り扱い規定の創設、個人情報管理体制の整備などを進めると共に、全ボランティアに研修を行い、意識の向上を図りました。
- 神戸市に認定更新申請を行い、審査を受けた結果、2023年10月25日に再認定を受けることができました。
- 「ひょうごバイオマスecoモデル」の認定を受けました。

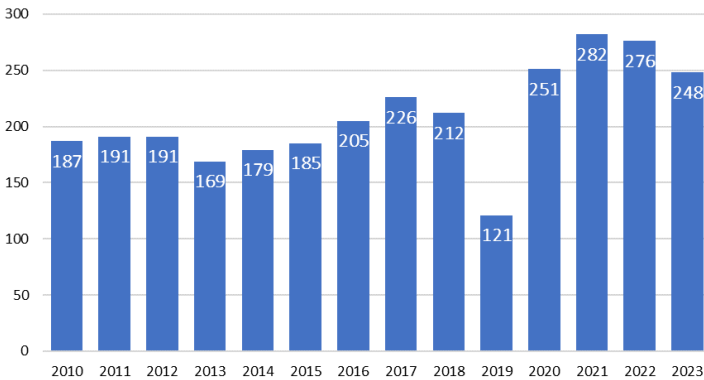
食品の受取状況



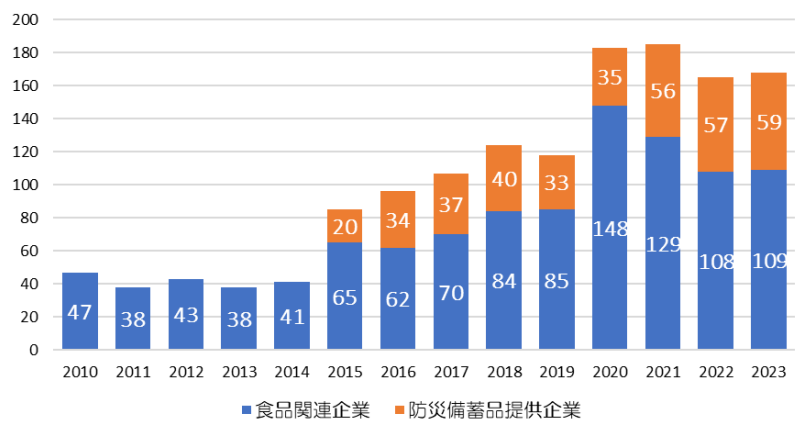
取り扱い食品総量 **248トン**
 食品提供企業数 **168社**

前年度に比べ約1割減少しました。
 前年度とほぼ同数でした。

取扱量経年変化（t）



食品提供企業数（社）



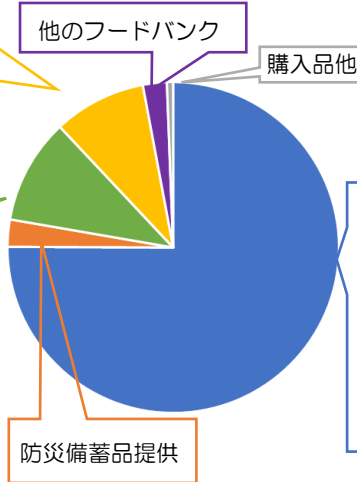
食品の提供元

個人からの寄贈

物価高騰の影響を受けて減少しましたが、米をはじめ、生活困窮者支援に役立つものを購入して寄贈して下さる方の存在は非常にありがたく思っています。

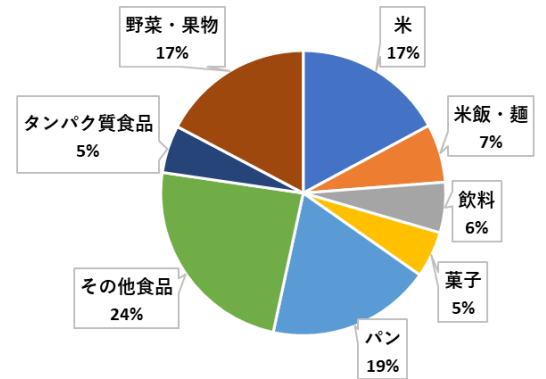
フードドライブ

提供団体数は増えましたが、受け取った総重量としては前年度並みとなりました。量販店店頭での回収の他、企業や団体、学校で社会貢献事業としてフードドライブを開催するところが増えており、集める食品の種類を限定して取り組み、当法人に寄付して下さる団体もありました。



食品関連企業からの提供
 提供企業数は昨年とほぼ変わりませんが、1社当たりの平均提供量は減少しています。

食品の種類



・米、タンパク源など入手したい食品の受け取り量が減少しましたが、米については、企業からの継続的な寄贈が実現しました。
 ・野菜については、定期的に提供して下さる農家さんや、農業法人とのつながりができました。

食品の活用状況



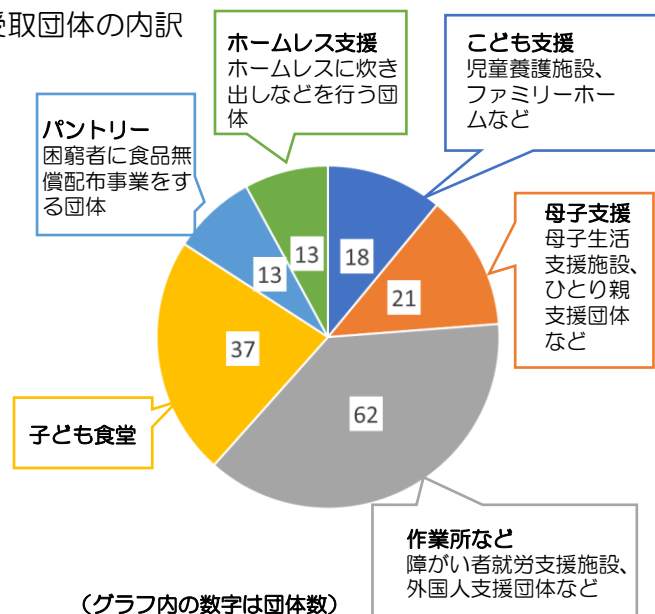
①社会的弱者を支える非営利団体等への無償提供

- ・164の施設、団体に対して毎月1～3回、または不定期に食品を提供しました。今年度新たに合意書を交わした団体は6団体となりました。
- ・主に長年にわたって支援している団体について、その団体の運営、活動状況を確認して、当法人からの食支援の役割を終えたと判断したところに対して、当法人からの定期的な食品提供を終了しました。
- ・提供する食品の種類や量については、なるべくそれぞれの団体の活動内容、支援対象に応じて分配するよう努めています。
- ・賞味期限が迫ったものの大量入庫があった際などは、グループメールで呼びかけ、臨時で希望団体に食品提供しています。

フードパントリー団体への提供

- ・困窮子育て世帯、留学生などに食品の無償配布を行う団体に対して食品を提供することによって普及を促し、地域での困窮者支援の取り組みを広げています。
- ・パントリー団体に対しては、食品の最終受け取り手であるパントリー利用者での転売防止や適正活用、トレーサビリティを確保するためのガイドライン順守を求めています。

受取団体の内訳



(グラフ内の数字は団体数)

②食のセーフティネット

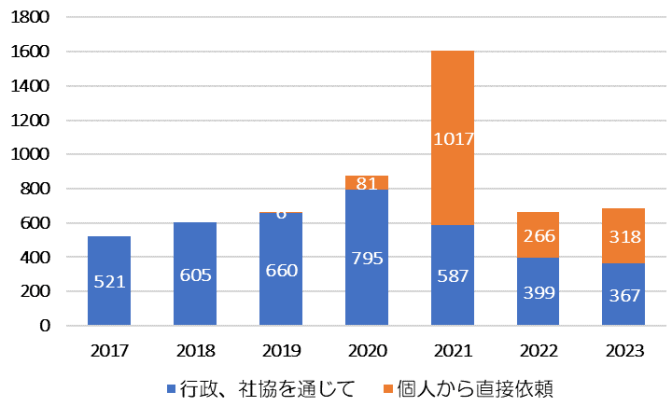
行政、社会福祉協議会を通じて

様々な理由で困窮し食糧不足に陥った世帯に対して、行政の福祉担当部署や社会福祉協議会の地域福祉生活相談担当部署からの支援要請を受けて、当法人が、缶詰・レトルト・米などの食品約1週間分をその担当部署を通じて困窮世帯に無償で提供する取り組みで、2012年から実施しています。今年度は事業協定を締結している自治体、社会福祉協議会、民間事業所のうち、尼崎市、芦屋市、西宮市、伊丹市、川西市、高砂市、猪名川町、神戸市（3区）、三田市からの支援要請に対して食品を提供しました。当法人からの食支援は種類も量も多く、要支援者の安心感、前向きな気持ちにつながることを評価をいただいています。

個人からの直接依頼があった場合の対応

「今日明日の食べ物もお金もないという緊急性」「制度につながりにくい状況」などの場合に限定して宅配で直接食品を届けました。コロナ収束後も仕事に就けなかったり、物価高騰の影響を受けたりしている世帯も多く、前年度より支援件数は増加しました。住んでいる地域の行政の支援制度や民間の支援団体についての情報をなるべく伝えるようにしています。

食のセーフティネット支援件数



③困窮する子育て世帯への食支援

子ども元気ネットワーク事業

困窮子育て世帯の生活相談や学習支援などを行っている母子生活支援施設・DVシェルター運営団体・子ども食堂などの民間の団体と連携して、当法人が食支援を担い、原則1年間、毎月1回宅配で直接食品を登録世帯に届ける取り組みです。2015年以降継続して実施しています。

今年度は、14の連携団体を通じて登録のあった世帯に、延べ878回食品を宅配で送りました。多品目の食品が送られてくることで助かる、子どもたちが喜んでくれるという声とともに、支えられていることの安心感や元気が得られるとの反応が多く寄せられています。



米、パン、菓子、レトルト食品などがきっちり詰められた宅配便。添えられた送り状の季節のイラストも、「とてもかわいく心が癒される、元気づけられる」と好評です。

子育て世帯応援食品パック事業

給食がなくなる夏休みと年末の年2回、「兵庫県内在住、3歳以上の子どもがいる生活困窮子育て世帯」を対象に公募して、各回約500世帯を選定し、米やその他食品を詰め合わせた食品パックを一齐に宅配で発送しました。

夏休み

- 支援世帯数：518世帯、1688人
- 食品提供企業・団体数：33団体と一般市民（総重量：約6トン）
- 内容：米・レトルト食品・缶詰・パックご飯・乾麺・インスタント味噌汁・お菓子など

年末年始

- 支援世帯数：519世帯、1646人
- 食品提供企業・団体数：41団体と一般市民（総重量：約8トン）
- 内容：米・ビーフシチュー・乾麺・餅・パックご飯・魚肉ソーセージ・スープ・クリスマスやキャラクターのお菓子など

受け取った方々からは「学校が休みの間、食べ盛りのおもちゃの子どもをどうしようかと悩んでいたもので、とても助かった」「お菓子が数種類入っていて、子どもたちが今日は何にしようかと楽しそうに選んでいた」「普段購入することがない食品で食生活が彩り豊かになった」等のコメントをいただきました。

運営費について

2023年度もたくさんの方々からご支援いただきました。ありがとうございます。

(1) 賛助会員、個人・企業からの支援

賛助会員からの年会費、一般の皆様からのご寄付が、個人・法人を合わせて775件となりました。

(2) 助成金・補助金

- 神戸市環境局のフードバンク活動支援助成を受けました。
- フードバンク関西創始者プライアン・ローレンス氏による寄付を助成金としていただきました。

フードバンク事業には収益性がないため、当法人の活動運営費は活動趣旨に賛同して下さる賛助会員年会費、市民や団体からの寄付、そして助成金で賄っています。皆さまのご支援を、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

	個人	金額 (円)	団体	金額 (円)	合計金 (円)
正会員年会費	29人	290,000			290,000
賛助会員年会費	233人	3,224,900	150	3,584,000	6,808,900
一般寄付	362人	10,592,933	30	5,609,829	16,202,762
助成金	神戸市・パブリックリソース財団・CAF America				3,824,742
その他の収益	受取利息・配送分担金・雑収入				390,413
経常収入合計					27,526,817

費目・摘要		金額 (円)	費目・摘要	金額 (円)	
事業費	人件費	2,548,340	管理費	賃借料	720,000
	食品配送経費	4,151,798		支払い手数料	471,084
	交通費	1,982,350		水道光熱費他	52,034
	賃借料	3,213,985		その他	150,696
	その他	7,448,380			
事業費合計	19,344,853		管理費合計	1,393,814	
経常支出合計					20,738,667

2023年度経常収支差額	6,788,150
--------------	-----------

「第6回いのちとくらしの映画祭&講演会」

2024年2月12日 (兵庫県民会館)

コープ自然派兵庫、コープこうべ、市民デモHYOGO、熟年者ユニオンとフードバンク関西が実行委員を組んで毎年開催しているイベントです。今回は「お腹も心も満たせる『場』づくり」というテーマのもと、映画「夜明けまでバス停で」上映と、料理研究家であり社会活動家である枝元なほみさんの講演、地域で社会的弱者を支える活動をしている団体の活動紹介を行いました。



神戸新聞社会賞 2024年5月3日

第78回神戸新聞社会賞を受賞いたしました。神戸新聞平和賞、文化賞、社会賞、スポーツ賞は、平和憲法である日本国憲法制定を記念して、すぐれた業績のあった兵庫県ゆかりの個人、団体に贈られてきた歴史ある賞です。日本のフードバンクの草分けとして長年活動を続けてきたことや、コロナ禍における困窮する世帯への食支援の実績を評価くださり、当法人を選定してくださいました。

中間支援で地味な当法人の活動に目を向けその実績とこれからの希望ある社会の実現に必要な活動であることを認めていただけたことはとてもありがたく、今後の活動の大きな励みになります。皆さまのご期待を裏切らないよう、これからも食支援を活用して安心して暮らせる地域社会の実現を目指し活動を続けてまいります。



フードバンク関西の食品利用について 施設の皆さまにお聞きしました

社会福祉法人 愛神愛隣舎 様

神戸市にあるキリスト教を主軸とした児童養護施設。2才から18才までの家庭的に養育を必要とする児童の保護・育成を目的とし、関係機関と連携を図りながら、児童の自立を支援しています。

食品をどのように利用していますか

近年、コロナ問題・ウクライナ問題等で物価が高騰し、財政的に厳しい状況になる中、貴団体より支援して頂く物資(食材等)は大変貴重で、入所児童の食事の食材として使わせて頂いております。

また卒園生への食品の配布も行っています。特に、卒園間もない1人暮らしをしている卒園生に対しては、非常に有効に活用させて頂いており、食生活の安定につながっております。

今後どのような食品を希望しますか

冷凍保存が可能な食材は、有効利用の期間が広いので活用幅があり有難いです。

皆様のご期待に添えるよう頑張ります！

特定非営利活動法人 ひこうせん 様

障がい者のための就労継続支援B型作業所

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行っています。

食品をどのように利用していますか

障がい者とスタッフのお昼ご飯やおやつとして活用させていただいています。お昼ご飯はフードバンクから頂いた食品を中心にバランスのいい食事を当スタッフが調理しています。

届いている食品の中にはかなりレアなものがあるので、それをみんなでいろいろ試してみるのも楽しい時間になっています。

また、姫路から届くお野菜を手にとったり、へこんだ箱を見てもったいないと思ったり、食べ物を大事にしようという気持ちがさらに芽生えたような気がしています。

何より、食べることは体にも心にも大事なことだと思うので、それを提供できる環境を作って頂けているのをうれしく思っております。

今後どのような食品を希望しますか

いただいている食品は、とても好評です。今日のお昼は、頂いたトマト缶でチキンと野菜のトマト煮にする予定です。お肉などの冷凍があると、またレシピが広がって楽しいかなとの声がありました。

誰もが食べ物を得られる社会のために、みなさまのご支援をお願いします。

クレジットカードで手軽に寄付ができます！

●公式ホームページから <https://foodbankkansai.org/donate-money/>

●ゆうちょ口座への払込、振替：口座番号 **00990-7-333141**

※ 赤い郵便振替取扱票は当法人送金手数料負担。振込手数料について詳しくはゆうちょ窓口へお問い合わせください。

●銀行振込：三井住友銀行 芦屋駅前支店 口座番号 **4032415**

※振込手数料について詳しくは銀行窓口にお問い合わせください。

※お振込みの際は、メールにて寄付者の住所、氏名、寄付日時、寄付なのか賛助会費なのかを必ずお知らせください。(info@foodbankkansai.org)

●ゆうちょ、銀行いずれも口座名義は「特定非営利活動法人フードバンク関西」です。



↑↑こちらからも
お申込みできます。